



(写真) Shutterstock “ベネズエラの外貨準備(2024年12月末)の詳細を考察”

2024年の外貨準備推移

前年比4.4%増の102.6億ドル

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

 ネズエラ中央銀行は、2024年12月末時点の外貨準備の内訳を公表した。

中央銀行の発表によると、2024年12月末時点の外貨準備は総額102億6300万ドル。23年12月末は98億1300万ドルだったので、当時よりも4.5億ドルほど増えたことになる。総額ではそこまで大きな変動があったとは言えないが、内訳をみると様々な変化が確認できる。

本稿では、2024年の外貨準備の詳細について紹介してみたい。

2024年12月末のベネズエラの外貨準備は前年比4.4%増の約102.6億ドル。

直近4年間の外貨準備は

2020年12月末が約63.6億ドル。

2021年12月末が約109.2億ドル。

2022年12月末が約99.2億ドル。

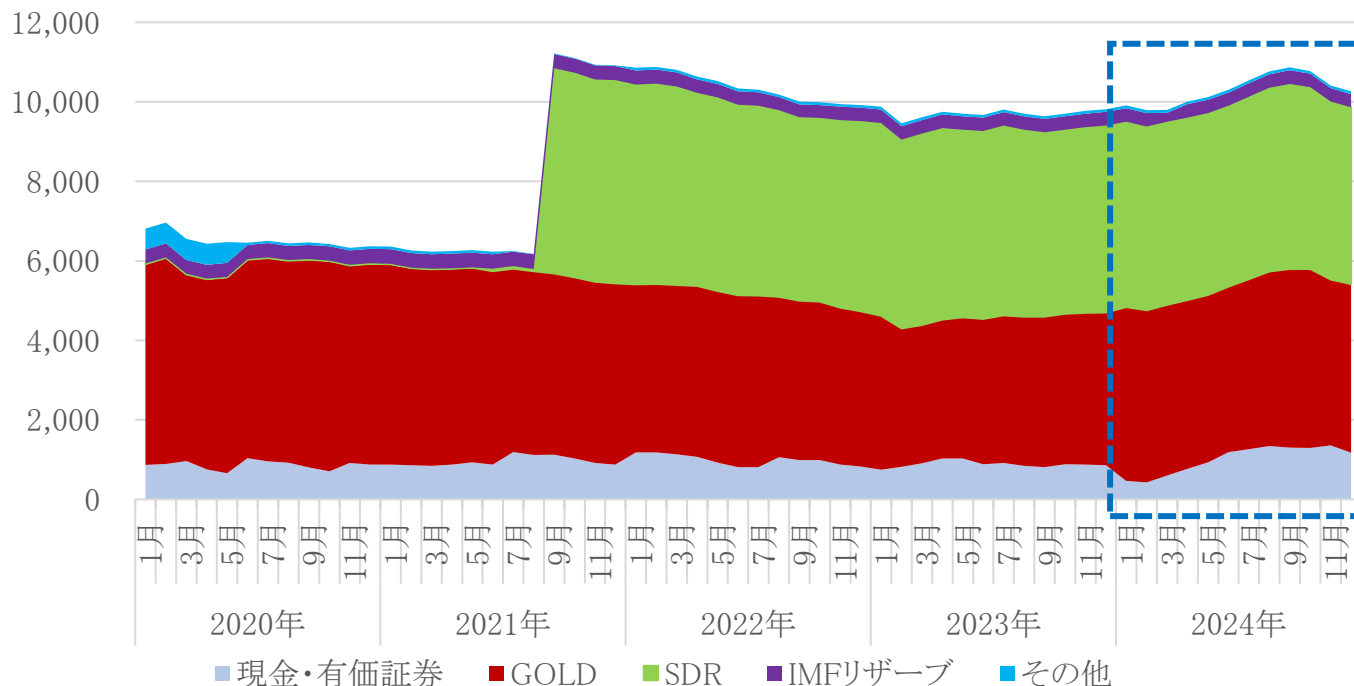
2023年12月末が約98.1億ドル。

2024年の外貨準備は21年当時よりも少ないが、22年、23年と比べると増加している。

なお、各年の外貨準備の詳細については「[ウィークリーレポート No.188](#)」「[No.240](#)」「[No.290](#)」「[No.341](#)」を参照されたい。

グラフ： 外貨準備高の推移(2020年1月～24年12月)

(単位: 100万ドル)



(出所) 中央銀行 (GOLD、外貨準備総額、その他)、IMF (SDR、IMFリザーブ)

表： ベネズエラの外貨準備推移(2023年12月～24年12月)

(単位:100万ドル、%)

	2023 年	2024 年					
	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
現金・有価証券	859	466	425	491	767	932	1,187
GOLD	3,840	4,373	4,331	4,289	4,248	4,207	4,166
SDR	4,706	4,664	4,623	4,611	4,589	4,576	4,548
IMF リザーブ	342	339	338	337	336	337	335
その他	67	70	70	70	70	70	70
合計	9,813	9,912	9,787	9,798	10,010	10,122	10,306

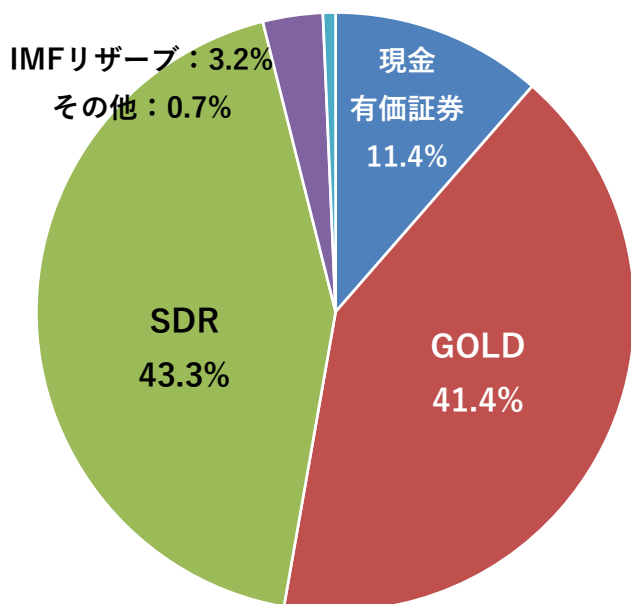
	2024 年							前年 同期比
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	割合	
現金・有価証券	1,257	1,341	1,297	1,294	1,361	1,171	11.4	26.7
GOLD	4,279	4,387	4,498	4,502	4,167	4,244	41.4	9.5
SDR	4,593	4,622	4,655	4,570	4,479	4,446	43.3	△ 5.9
IMF リザーブ	338	343	346	339	335	332	3.2	△ 2.9
その他	70	70	70	70	70	70	0.7	3.4
合計	10,537	10,763	10,866	10,775	10,412	10,263	100.0	4.4

(出所) ベネズエラ中央銀行、IMF から弊社作成 ※緑色で塗られている箇所は暫定値

GOLD と SDR で外貨準備の約 85 %

前ページの通り、24年12月の外貨準備内訳は、
「現金・有価証券」が約11.7億ドル
（前年比26.7%増）。
「GOLD」が約42.4億ドル（同9.5%増）。
「特別引出権（SDR）」が約44.5億ドル
（同5.9%減）。
「IMF リザーブ」が約3.3億ドル
（同2.9%減）
「その他」が約0.7億ドル（同3.4%増）

また、24年12月末時点の外貨準備内訳の割合は
下グラフの通り。



「SDR」が43.3%、「GOLD」が41.4%と
2項目で全体の84.7%を占めている。流動性の
高い資産「現金・有価証券」は11.4%。
残りの3.9%は「IMF リザーブ」「その他」とい
う構成になっている。

中銀 SDR・IMF リザーブは使用不可

「現金・有価証券」、「GOLD」は前年より増えてお
り、一見すると、ベネズエラの外貨準備は回復傾向
にあるように見えるが詳細を分析すると中央銀行の
懐具合は徐々に厳しくなっていると言える。

これは過去の外貨準備に関するレポートでも度々指
摘してきた話ではあるが、外貨準備を構成する
「SDR」と「IMF リザーブ」は凍結されており、現
在のマドゥロ政権は使用できない。

SDR とは、IMF 加盟国の政府が緊急的な財政出動
を必要とした際に IMF から引き出すことが出来る
権利。

IMF は国連とは異なり、加盟国の拠出金に応じて投
票権が決まっているため、拠出金が多い欧米諸国の
意向を強く反映する。

その結果、IMF はマドゥロ政権をベネズエラ政府と
認識しておらず、マドゥロ政権は SDR を引き出す
ことはできないため、44.5億ドルの SDR は
（現在のところ）数字だけの存在になっている。

IMF リザーブの約3.3億ドルも同様の理由でマド
ゥロ政権が使用することはできない。

外貨準備の GOLD 32 トンは凍結中

「SDR」と「IMF リザーブ」に加えて、「GOLD」の大部分もマドゥロ政権は使用することが出来ない。

外貨準備を構成する GOLD の一部は英国銀行に保管されている。報道によると、英国銀行は32トンの GOLD を保管しているという。

英国政府はマドゥロ政権側の中央銀行を正式な中央銀行と認識しておらず、英国銀行もこの認識に従いマドゥロ政権による GOLD 使用を拒んでいる。

マドゥロ政権は GOLD 裁量権の返還を求めて、英国裁判所で裁判を起こしているが、政治対立が解消しない限り、マドゥロ政権が裁判で何をしてしても無駄だろう。

24年 中央銀行、GOLD を8トン売却

次に GOLD の詳細について確認してみたい。

前述の通り、2024年12月末の GOLD は約42.4億ドル。前年比9.5%増だった。

これだけを見ると、ベネズエラ中央銀行が保有する GOLD が増えたように見えるが実態は異なる。

ベネズエラ中央銀行によると、2024年12月末時点の GOLD 評価額は1トロイオンス当たり2492.58ドル。

一方、2023年12月末時点の GOLD 評価額は1トロイオンス当たり1959.62ドル。

つまり、この1年間で GOLD の評価は約27.2%増加した。しかし、ベネズエラ中央銀行の GOLD 保有額は前年と比べて9.5%しか増加していない。

その理由は、ベネズエラ中央銀行が2024年中に GOLD の一部を売却したためである。

「[ウィークリーレポート No.341](#)」の通り、2023年12月末時点のベネズエラ中央銀行の GOLD 保有量は61トンだった。

しかし、2024年12月末の GOLD 保有量は53トンに減少している。つまり、24年中に8トンの GOLD を売却したことになる。

そして、53トンのうち32トンの GOLD は英国銀行で凍結されているので、ベネズエラ中央銀行が実質的に使用できる GOLD は21トンになる。

中央銀行の真の外貨準備は29.2億ドル

次に中央銀行が使用できない外貨準備を差し引いた本当の外貨準備を確認したい（次ページ参照）。

筆者の認識では、24年12月の本当の外貨準備は
「現金・有価証券」が約11.7億ドル
「GOLD」が約16.8億ドル
「その他」が約0.7億ドル
合計で29.2億ドル。

表：ベネズエラ中央銀行の使用できる資金

（単位：100万ドル）

	2024 年 12 月	凍結 資産	使用可 資産
現金・有価証券	1,171		1,171
GOLD	4,244	△ 2,564	1,680
SDR	4,446	△ 4,446	0
IMF リザーブ	332	△ 332	0
その他	70		70
合計	10,263	△ 7,343	2,920

ちなみに、下表が2023年12月末時点の中央銀行の本当の外貨準備（予測値）。

2024年の外貨準備は2023年と比べて約1.7億ドル増加しているが、これはGOLDの評価（23年は1トロイオンス当たり1959.62ドルで換算）が要因。

GOLDの評価増を加味しなければ、1年で中央銀行の実質的な外貨余力は減少したと言える。

表：ベネズエラ中央銀行の使用できる資金

（単位：100万ドル）

	2023 年 12 月	凍結 資産	使用可 資産
現金・有価証券	859		859
GOLD	3,840	△ 2,014	1,826
SDR	4,706	△ 4,706	0
IMF リザーブ	342	△ 342	0
その他	67		67
合計	9,813	△ 7,062	2,751

GOLD の売却、あと3年もたない？

このようにベネズエラ中央銀行はGOLDを売却し、現金外貨をねん出することで国内の外貨需要を何とか満たしている。

では、GOLDはいつ底を付くのだろうか？

以下は過去のベネズエラ中央銀行のGOLD保有量の推移。毎年、GOLD保有量が減少（つまり売却）していることが分かる。

2020年12月末のGOLD保有量：85.7トン
2021年12月末のGOLD保有量：78.8トン
2022年12月末のGOLD保有量：68.5トン
2023年12月末のGOLD保有量：61トン
2024年12月末のGOLD保有量：53トン

2020年～24年にかけて中央銀行は平均で8.2トン／年のGOLDを売却している。

現在の中央銀行の実質的なGOLD保有量は21トンなので、今のペースでGOLDを売却し続けると3年もたない。

トランプ政権はベネズエラへの外貨流入を厳しく制限する姿勢を見せており、外貨流入の減少を補うためにGOLDを売却する必要性が高い。

このように詳細を確認すると、中央銀行の懐具合はかなり厳しい状況にあると言えそうだ。

以上